



神戸市立小磯記念美術館は、緑豊かな六甲アイランド公園内に、平成4年11月に開館しました。

神戸に生まれ、神戸で制作を続けた洋画家小磯良平は、

昭和63年12月に惜しまれつつ世を去りました。

その翌年に油彩・素描・版画などの約2000点の作品が、アトリエ・蔵書・諸資料と共に、

ご遺族より神戸市に寄贈されました。

その後も、神戸市は小磯良平の偉業を顕彰し、作品の収集や保存、調査研究や普及活動を継続的に行い、

現在では約3200点の作品を有しています。

美術館の中庭に移築・復元された小磯良平のアトリエでは、

制作の雰囲気を味わっていただくことができます。

ハイビジョンギャラリーでは、110インチのハイビジョンで、

画家の紹介や作品の行っています。

また、年に数回の展覧会を開催し、作品の入れ替えを行うとともに、

小磯良平に間連付けた特別展を開催し親しまれています。



昭和24年当時 小磯良平アトリエ  
当館中庭へ移築復元



アトリエ内部



ハイビジョンギャラリー



ミュージアムショップ



休憩／喫茶



桃とクルミのある静物

1939(昭和14)年

油彩・キャンバス 60.8×72.9cm



二人裸婦

1949(昭和24)年

油彩・キャンバス 129.5×90.0cm



着物の女

1936(昭和11)年

油彩・キャンバス 90.9×72.7cm